

特 許 願

① 日本国特許庁

公開特許公報

昭和50年12月11日

特許庁長官 斎藤英雄 殿

1. 発明の名称  
二重価格設定装置
2. 発明者  
住所 大阪府大阪市神武町2番35号  
久保田鉄工株式会社久宝寺工場内  
氏名 森 本 庫 吉
3. 特許出願人  
住所 大阪府大阪市浪速区船出町2丁目22番地  
名称 (105) 久保田鉄工株式会社  
代表者 廣 慶 太郎

4. 代理人  
〒542 大阪府大阪市南区日本橋筋1丁目31番地  
(3448) 弁護士 鎌 田 嘉 之

5. 添附書類の目録

- |             |     |
|-------------|-----|
| (1) 明細書     | 1 通 |
| (2) 図面      | 1 通 |
| (3) 願書副本    | 1 通 |
| (4) 委任状     | 1 通 |
| (5) 内願審査請求書 | 1 通 |

① 特開昭 52-71300

④ 公開日 昭52.(1977) 6.14

② 特願昭 50-149748

② 出願日 昭50.(1975) 12.11

審査請求 未請求 (全5頁)

庁内整理番号

7234 25  
7234 25

⑤ 日本分類

115 E13  
115 H4

⑥ Int.Cl<sup>2</sup>

G07F 5/22  
G07B 1/00

識別  
記号

明 細 書

1. 発明の名称

二重価格設定装置

2. 特許請求の範囲

コインの投入により自動的に券を発売する券発売機において、コインの投入によるコインパルス信号を復算するコインカウント装置と、何れの料金系に所属せしめるかの信号を発生する切替スイッチの信号を受けてコインカウント装置よりの信号を複数個の食品銘柄別料金設定装置に選択的に渡し、又、コインカウント装置よりの信号を受けた複数個の食品銘柄別料金設定装置よりの信号を選択する料金設定選択装置と、食品銘柄別料金設定装置又は料金設定選択装置よりの信号を受け、選択鈕を働かすことにより銘柄印版選択装置に信号を送る押鈕銘柄選択装置と、銘柄印版選択装置の制御により前記信号に対応する銘柄印版を所定の印刷位置に移行させ券に印字する券印刷装置から成る二重価格設定装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は券発売機に用いる二重価格設定装置に関するものである。高速道路レストランにおける夜間割増料金券発売、鉄道における大人、小人券発売、映画館等の特定日における割増又は割引料金券発売等において、従来では割増し用と普通用の2台の券発売機を使用する方法、割増し割引き専用の夜間又は昼間の特定時間帯のみ機械を使用する方法、或は選択鈕の数を増して使用日に応じて適宜選択鈕を働かせないようにする方法、駅乗車券発売機のように大人用と小人用の2倍数の選択鈕を設ける等の方法が採られているが、これらは乗客の購入設置者にとっては設置効果を減殺するものであり、又、選択鈕を増した場合、利用者は目移りして要求する鈕を選択するまでに時間がかかる等の不便が多い。

本発明は上記の点に鑑みて、普通料金と割増し又は割引料金の二種以上の券を機械内に設置した切替スイッチの操作で自由に発売し得るようにし、しかも選択鈕は一種類のみでよいようにしたものであるが、その詳細を説明すれば次の通りである。

BEST AVAILABLE COPY

図においてAは本発明を実施した券発売機で、コイン投入口1、投入金額表示板2、選択部3を有し、コイン投入口1にコインを投入すると該表示板2に機械が収納した金額が表示される。又、該選択部3にはランプが内蔵され、前記の表示板2に表示された金額に相当する料金の食品等の種類が多数ある場合はその全ての部3が点灯する。従って利用者は点灯した部3の食品表示を見て所望のものを押すと機械に内蔵せしめた券印刷装置が働き、押された部3に該当する食品の銘柄印刷を選択して白紙のカードに印刷し、食券として券の出入口4に送り出される。割増、割引料金が適用される場合は機械内に設置した切替スイッチ5を操作して普通料金とは別の料金系に選択部3が結合されるようになっている。即ち、平常時には利用者が例えば200円投入すれば選択部3が点灯して購入できる或る料理が、特定時には300円投入しないと同一部3が点灯せずその料理が購入できないと云うように仕組まれている。

次に前記機能を作動せしめる装置を第2図、第

3図、第4図、第5図、第6図について説明する。コイン投入口1にコインが投入されるとコインメカニズム6内のスイッチが働き、コインパルス信号がコインカウント装置7に送られ、投入金額表示装置8の表示板2に投入金額が表示される。これから特定時になるときは切替スイッチ5を第2図、第6図に示す位置イよりロに切替えることにより料金第1、第2設定選択装置9を動かしてコインカウント装置7より送り込まれた投入金額信号を食品銘柄別料金第2設定装置12に送り込まれるようにする。勿論平常時は投入金額信号は食品銘柄別料金第1設定装置11に送り込まれるようになっている。該設定装置11、12は食品名銘柄別、押部銘柄選択装置10の選択部3と関連して料金が設定できるようになっている。例えば第4図、第5図に示すように例えば一つの食品即ち、それに該当する選択部3に關し、第1設定装置11では200円に設定されている場合、第2設定装置では300円に設定されていることを意味する。該設定装置11、12より送り出された

信号は押部銘柄選択装置10に送り込まれると同時に押部銘柄表示装置13に送られて選択部3のランプを点灯する。次いで利用者が所望の食品に相当する選択部3を押すと銘柄印刷選択装置14が働いて、券印刷装置15の銘柄印刷を所定の印刷位置に移行させ、白紙の用紙に印刷する。この時特定時に割増又は割引料金が適用される場合であれば、切替スイッチ5の切替操作に関連して特別表示印刷選択装置16を働かせて、前記銘柄印刷と併行して特別なマークを印刷することもできる。又、押部銘柄選択装置10の選択部3が十分あって各食品銘柄別料金設定装置11、12の銘柄と対応するに足る数だけ存在する場合は選択装置10の押部3と対応して信号授受を行う形にすることも可能である。

前記第2図の方式の場合、選択装置9によってコインカウント装置7より送られた投入金額信号は設定装置11、12の何れかに送り込まれるが第3図の方式では投入金額信号は両設定装置11、12に同時に送り込まれ、選択装置9より何れか

の設定金額が選択部3と関連する。第6図はこの関係を示す一実施例で、この第6図と第4図、第5図を関連させて第3図の方式について説明を補足する。前記の投入金額信号200円は料金設定装置11、12の入力回路22、23に印加され、選択装置9にV1、X2の信号が送り込まれる。第6図のスイッチ5は平常時で、このときゲート61が働いて信号V1がゲート63を経てトランジスタ64を働かせ、押部銘柄表示装置13のランプ65を点灯する。この関係の制御回路は選択部3に対応する数だけあってこの一群が第3図に示す料金設定選択装置9である。切替スイッチ5がロに切替っている特定時の利用者は300円を投入しないと同一V食品を購入できないことになる。従って押部銘柄選択装置10の選択部3のスイッチ66を閉じることによりV信号が銘柄印刷選択装置14に送られる。

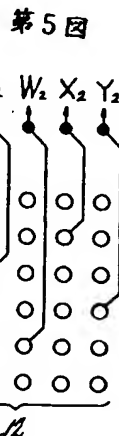
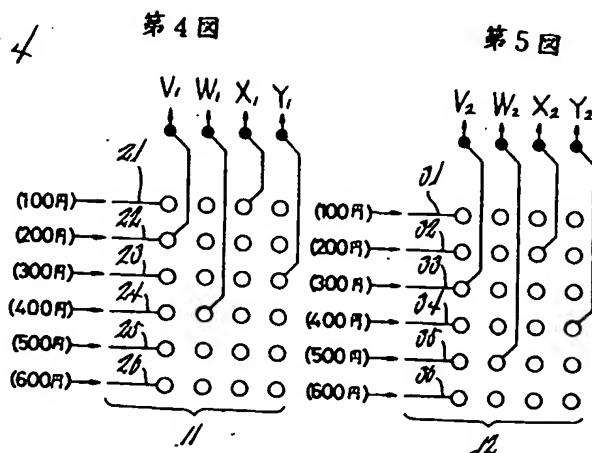
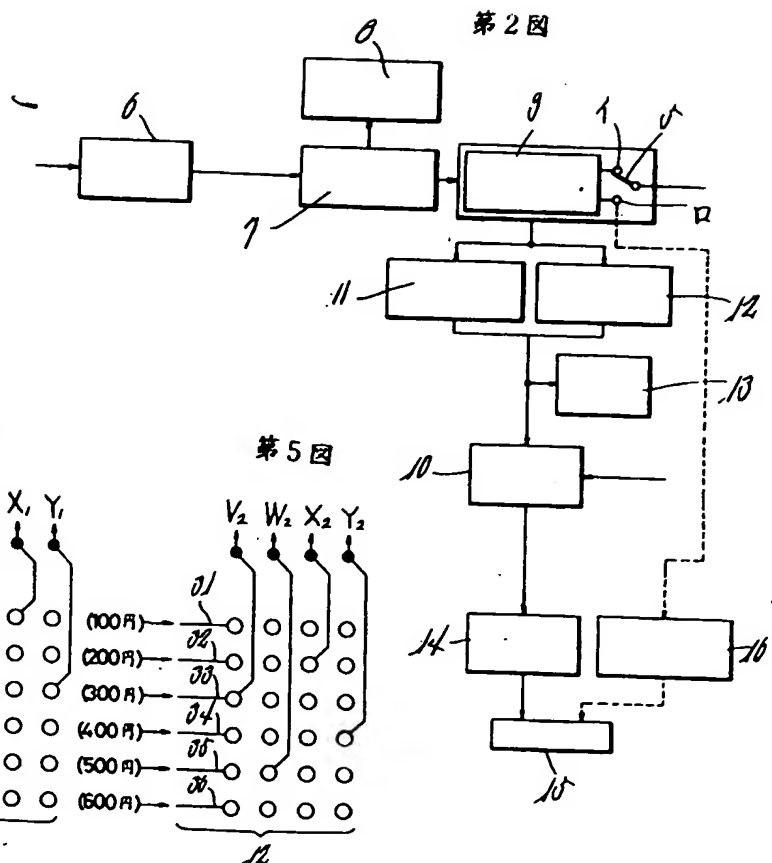
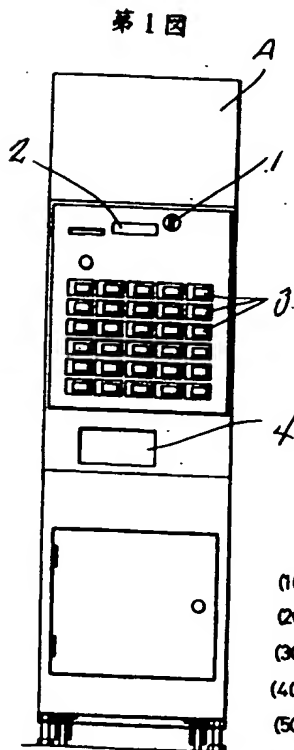
本発明は上記のように例えば時間帯により、普通料金と割増又は割引料金とに切替える必要のある券発売機の場合、単に切替スイッチの操作のみ

で何れかの料金に簡単に切替えられるものである。従つて2種の券の発売のために2台の券発売機を用意する加え手数と無駄な経費が入用となる従来方式に比較して遙かに有利であり、券発売機の選択回数も従来の一種類販売のものとかかわらないので取扱いが便利であると共に経済的である等の種々の効果を有するものである。

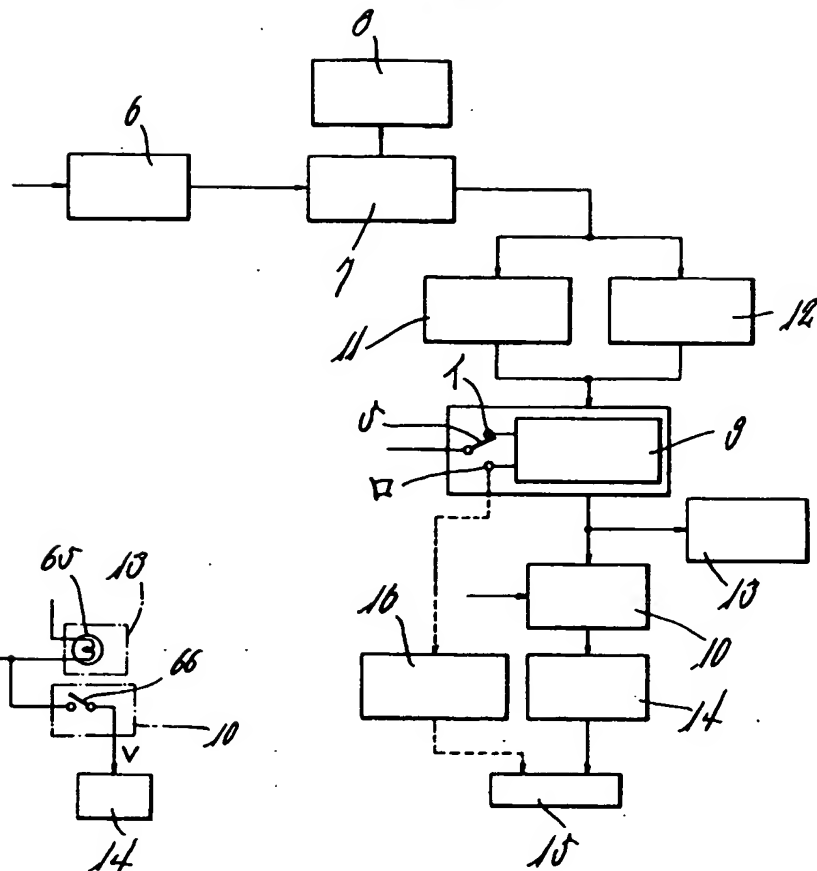
#### 4 図面の簡単な説明

第1図は本発明装置を実施した昇降機械の一例を示す正面図、第2図、第3図は本発明装置の各実施例を示すブロック図、第4図、第5図は料金設定装置の回路図、第6図は料金選択装置等の一部を示す回路図である。

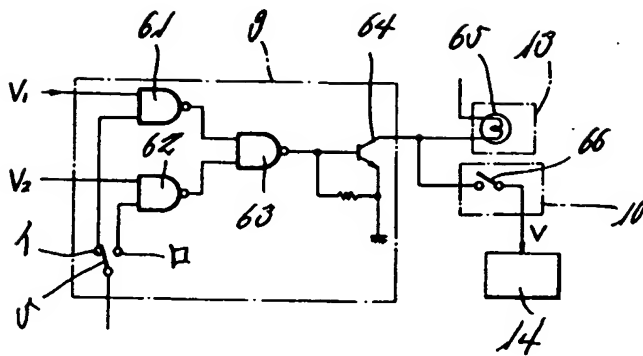
A・・・券売機構、1・・・コイン投入口、2・・・投入金額表示板、3・・・選択部、4・・・券取出口、5・・・切替スイッチ、7・・・コインカウント装置、9・・・料金第1、第2設定選択装置、10・・・押部銘柄選択装置、11・・・食品銘柄別料金第2設定装置、13・・・押部銘柄表示装置、14・・・銘柄印版選択装置、15・・・券印刷装置



第3図



第6図



# 手続補正書

昭和51年 5月12日

特許庁長官 片山石郎 殿

## 補正の内容

1. 発明の名称を「二重価格選択装置付き券売機」と補正します。
2. 特許請求の範囲を別紙の如く補正します。

### 1. 事件の表示

昭和50年特許願第149748号

### 2. 発明の名称

旧 二重価格設定装置  
新 二重価格選択装置付き券売機

### 3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 大阪府大阪市浪速区船出町2丁目22番地

名称 久保田鉄工株式会社

### 4. 代理人

〒542 大阪府大阪市南区日本橋筋1丁目31番地

(3448) 弁護士 鎌田 嘉之

電話大阪 06 (06) 0010・0021 (代表)  
(06) 0020・0021 (代表)  
(06) 0020・0021 (代表)

### 5.

昭和 年 月 日

### 6. 補正により増加する発明の数

### 7. 補正の対象

請求及び明細書

### 8. 補正の内容別紙の通り

BEST AVAILABLE COPY

## 特許請求の範囲

コインの投入により自動的に券を発売する券発売機において、コインの投入によるコインパルス信号を積算するコインカウント装置と、何れの料金系に所属せしめるかの信号を発生する切替スイッチの信号を受けてコインカウント装置よりの信号を複数個の食品銘柄別料金設定装置に選択的に流し、又、コインカウント装置よりの信号を受け、複数個の食品銘柄別料金設定装置よりの信号を選択する料金設定選択装置と、食品銘柄別料金設定装置又は料金設定選択装置よりの信号を受け、選択部を動かすことにより銘柄印版選択装置に信号を送る押部銘柄選択装置と、銘柄印版選択装置の制御により前記信号に対応する銘柄印版を所定の印刷位置に移行させ券に印字する券印刷装置から成る二重価格選択装置付き券売機。